

14.4

1027

長野縣勢要覽

昭和十年



\* 0032433001 \*

0032433-001

14.4-1027

長野縣勢要覽

長野縣・〔編〕

長野縣

昭和9, 10年

昭和9-10

AFB

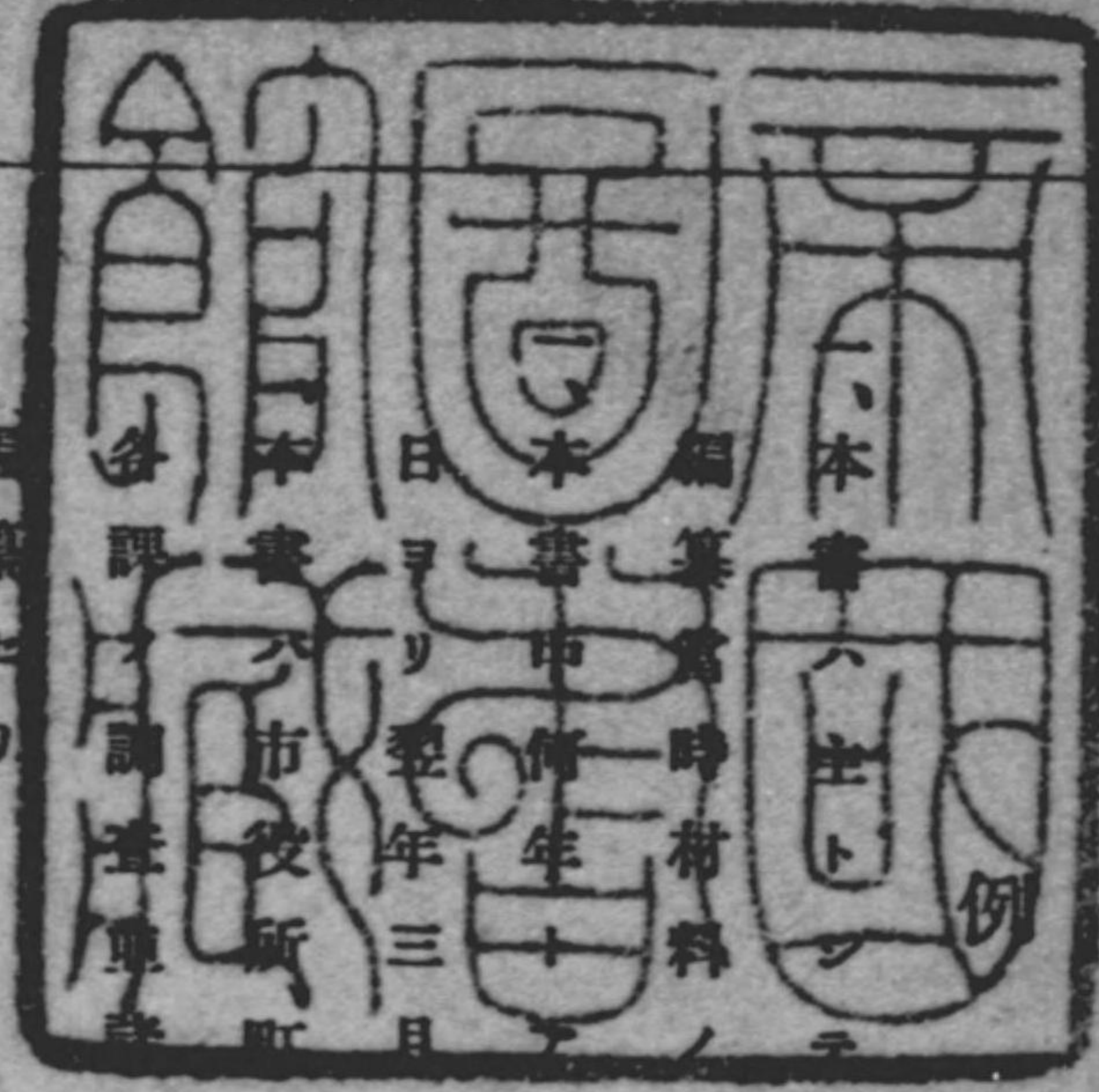


昭和十年

長堅







昭和十年四月

長野縣總務部統計課

言

昭和八年及昭和九年度ノ事實ヲ表示シタリト雖  
 完備シタルモノハ努メテ最近ノ事實ヲ掲載セリ  
 ルハ歴年間ノ事實、何年度トアルハ其ノ年四月  
 三十一日迄ノ事實ナリ  
 村役場ノ統計報告ニ依ル材料ヲ主トシ、是ニ應  
 官衙會社等ニ依頼シテ蒐集シタル材料ヲ加ヘテ

發行所寄贈本



長野縣總務部統計課



14.4-1027

目次

一、總說	一頁
二、各表	六頁
○縣廳位置面積	六
○土地及戶口	六
○氣候	八
○人口動態	八
○學事	八
○社會事業	一一
○兵事	一二
○社寺及宗教	一二
○衛生	一四
○警察	一四
○財政	一六
○土木及交通	一八
○生產總價額	二〇
○主要物產移出入	二〇
○農業	二二
○牧畜	二四
○山林	二五
○鑛業	二六
○工業	二七
○水產	二九
○商事	三〇

發行所 總發行所



○金	融	三
○議	會	三
○官	公吏	三
○文	書取扱	三
○其	他	三

### 三、附 録

1、	歴代知事	一
2、	歴代縣會議長	二
3、	貴族院多額納稅者議員	四
4、	衆議院議員	五
5、	縣會議員	六
6、	郡市別官公署及公立學校	八
7、	名所舊蹟遊覽地	三〇

8、	信濃民話	三六
9、	長野縣地圖	末尾



説

信濃國には有史以前より人類の棲居したる遺跡多し。神代に於て健甕名方命此の國を開き人皇の世となりて、神八井且命の子孫國造として始めて各地を治められ、王化漸く洽かりしが如し。奈良朝の始めに信濃の國司任せられてより、地方次第に開發せられ、平安朝に至り延喜、天曆の時、信濃の郡縣、宿驛、牧場、神社等世に知らる。當時の國府は松本附近に在りたり。平安朝の末、地方武士の自主獨立の形勢にありたる頃、所謂信濃源氏なる者各地に在り源義仲の驅起に際して一時勢力を振ひしが鎌倉時代となり、守護職は甲州源氏小笠原氏の手に歸したり。

南北朝時代には各地に小豪獨立し鬭争を事とし、武田氏信濃侵略を企圖せしより以來村上、小笠原、諏訪、木曾の諸豪聯合して之を争ふこと數十年に亘りしも、終に武田氏の所領となりたり。

武田氏亡び織田、豊臣の二氏を経て徳川時代となるや、戰國時代以來の戰亂熄みて社會の秩序漸く定まり、松代、松本、上田、諏訪、高遠、小諸、飯田、飯山、須坂、岩村田等十藩分領し、其の間徳川



代官の所領ありて領地頗る錯綜せり。斯くの如き小藩分立の治下に泰平を謳歌したるもの二百六十餘年、然れども此の間幾多の傑才を輩出し、新田の開発増加し、徳川初代五十餘萬石なりしも幕末には七十餘萬石となり、人口も亦これに準ずるに至れり。王政復古せられ明治時代に至りて、此の地に伊那、中野の二縣設置せられ、縣藩共治たりしが、其後廢藩となり、次いで明治四年之を改めて筑摩、長野の二縣となせり。筑摩縣は信濃の南部四郡と飛騨とを管轄し、長野縣は信濃の北部六郡を管轄したり。

明治九年全國に於て、縣の廢置分合行はる、や、筑摩縣を長野縣に合せて茲に信濃一國一縣治を形成せり。

明治元年	同二年	同三年	同四年	自同五年至同八年	同九年以降
高島藩……諏訪氏(三萬石)……諏訪郡全部及東筑摩ノ内	……	……	高島縣	……	……
松本藩……戸田氏(六萬石)……東筑摩、南北安曇、上伊那四郡ノ内	……	……	松本縣	……	……
飯田藩……堀氏(一萬七千石)……下伊那郡ノ内	……	……	飯田縣	……	……
			筑		

高遠藩……内藤氏(三萬三千石)……上伊那、東筑摩二郡ノ内	……	……	高遠縣	……	……
高須藩……松平氏(三萬石)……下伊那郡ノ内	……	……	……	……	……
(美濃) 但シ全藩	……	……	……	……	……
名古屋藩……徳川氏(一萬三千石)……西筑摩郡全部	……	……	名古屋縣	……	……
(尾張) 但シ全藩六十一萬九千五百石	……	……	名古屋縣	……	……
名古屋藩ノ取締所……上下伊那、東筑摩三郡ノ内	……	……	……	……	……
伊那縣……南北佐久、小縣、更級、埴科、上下高井、上下水内九郡ノ内	……	……	……	……	……
松代藩預所……上下高井、上下水内四郡ノ内	……	……	……	……	……
水野春四郎采地……北佐久郡ノ内	……	……	……	……	……
内藤箭之丞采地……同	……	……	……	……	……
松平榮之助采地……北佐久、小縣二郡ノ内	……	……	……	……	……
仙石政雄采地……小縣郡ノ内	……	……	……	……	……
松平忠厚采地……更級郡ノ内	……	……	……	……	……



















衛		(年九) 教 宗 寺			
人 員	病 院	(月三年十) 實 國		住 寺 (九年末)	教 會 (九年)
		建 造 物	實 物		
醫師	公立私立計	神	刀 劍 彫 刻 繪 畫 典 籍 美術工藝 文 書	曹洞宗 真言宗 真宗 天台宗 臨濟宗 日蓮宗 黃蘗宗 時宗 淨土宗 其他	神 道 佛 教 基 督 教 基 督 教 布 教 者 信 者
齒科醫師	公立私立計	社		曹洞宗 真言宗 真宗 天台宗 臨濟宗 日蓮宗 黃蘗宗 時宗 淨土宗 其他	神 道 佛 教 基 督 教 布 教 者 信 者
藥劑師	公立私立計	寺		曹洞宗 真言宗 真宗 天台宗 臨濟宗 日蓮宗 黃蘗宗 時宗 淨土宗 其他	神 道 佛 教 基 督 教 布 教 者 信 者
產 婆	公立私立計	院		曹洞宗 真言宗 真宗 天台宗 臨濟宗 日蓮宗 黃蘗宗 時宗 淨土宗 其他	神 道 佛 教 基 督 教 布 教 者 信 者
看護婦	公立私立計	佛		曹洞宗 真言宗 真宗 天台宗 臨濟宗 日蓮宗 黃蘗宗 時宗 淨土宗 其他	神 道 佛 教 基 督 教 布 教 者 信 者
醫師一人ニツキ人口	公立私立計	堂		曹洞宗 真言宗 真宗 天台宗 臨濟宗 日蓮宗 黃蘗宗 時宗 淨土宗 其他	神 道 佛 教 基 督 教 布 教 者 信 者
産婆一人ニ對スル出産	公立私立計	其 他		曹洞宗 真言宗 真宗 天台宗 臨濟宗 日蓮宗 黃蘗宗 時宗 淨土宗 其他	神 道 佛 教 基 督 教 布 教 者 信 者
藥業者	公立私立計	計		曹洞宗 真言宗 真宗 天台宗 臨濟宗 日蓮宗 黃蘗宗 時宗 淨土宗 其他	神 道 佛 教 基 督 教 布 教 者 信 者

一三

社		(年九) 事 兵			
(九年末)	社	海軍志願兵令ニヨル志願兵	トヲホム患者檢査人員千人ニ付	壯丁教育程度	壯丁體格檢査
縣社	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格
郷社	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格
村社	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格
無格社	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格
計	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格	探 合 格

一二



察											
健康保險 (八年)		勞働爭議 (九年)		犯罪人 (九年)		消防組 (九年末)		火災 (九年)		盜	
被保險者數	總數	件數	參加人員	件數	人員	組數	組員	被害價額	發見價額	度	災
六、三〇六	二五、三三四	一五	二、〇二四	三、七八九	二、一五九	五〇〇	九六、三〇三	一、〇〇三、六九四	三三、四〇六	四八三	同上機失坪數
男	四、〇三三	諸人夫及仲仕	二、〇二四	二、二七三	一六、三四九	一	二九六	三三、四〇六	同上機失坪數	損害見續價額	損害見續價額
女	二、〇八一	紡績及製絲業	三	一六、三四九	六、一四七	一	六三三	三三、四〇六	同上機失坪數	損害見續價額	損害見續價額
總數	二、五四九、八九五	其他	八	四、七九〇	七、五八八	一	二、三三九	四八三	同上機失坪數	損害見續價額	損害見續價額
男	四、五二、九〇八	其他	三	四、七九〇	七、五八八	一	二、三三九	四八三	同上機失坪數	損害見續價額	損害見續價額
女	二、〇九七、九八七	其他	八	四、七九〇	七、五八八	一	二、三三九	四八三	同上機失坪數	損害見續價額	損害見續價額
總數	二、二、九八一	其他	三	四、七九〇	七、五八八	一	二、三三九	四八三	同上機失坪數	損害見續價額	損害見續價額
男	一九、三三四	其他	三	四、七九〇	七、五八八	一	二、三三九	四八三	同上機失坪數	損害見續價額	損害見續價額
女	九、八五七	其他	三	四、七九〇	七、五八八	一	二、三三九	四八三	同上機失坪數	損害見續價額	損害見續價額

一五

警				生 (年九)			
行政事故 (九年)	人員 (九年現在)	警察署 (十年現在)	埋火葬	種痘 (私種除ク)	傳染病 (疑似ヲ含ム)	死亡者	陽チブス
安寧	警察部長	警察署	墳基地個所	一回	死	陽チブス	陽チブス
衛生	警察部長	警察署	同上	一回	死	陽チブス	陽チブス
風俗	警察部長	警察署	同上	一回	死	陽チブス	陽チブス
交通	警察部長	警察署	同上	一回	死	陽チブス	陽チブス
營業	警察部長	警察署	同上	一回	死	陽チブス	陽チブス
其他	警察部長	警察署	同上	一回	死	陽チブス	陽チブス
合計	警察部長	警察署	同上	一回	死	陽チブス	陽チブス

一四







及 木 士

電話 (八年)	郵便物及 (八年)	郵便局 (九年)	鐵道 (九年)		道路延長 (八年末)	
			國有鐵道 及地方鐵道	停車場	國道	縣道
單 一七、四九九	引受 七二、八三六	一 等	國有鐵道 六四	停車場 一九七	國道 三六九、五八五	縣道 二、九五六、七七一
加 共	現在人口一 人當引受 〇・四五	二 等	三 等	延長距離 三四九、九二〇	市道 八八七、七八六	町村道 四、八九〇、二九三
同 連	配達 八五二、七九九	集 配	無集配	八 年 八、八六七、八七〇	客 員 一、六六二、五七五	貨 物 二、四〇三、六二四
入 接	通 常 郵 便 物 五、一五五	取 換 局 信 二二八	電 話 交 換 及 通 話 局 所 三三六	切 手 印 紙 賣 捌 所 二、三三八	計	計
者 計	現在人口一 人當引受 一〇二、三六八、三三二	小 包 郵 便 物 二、三三八	賣 捌 所 九〇七、四五四	貨 物 二、四〇三、六二四	計	計
計	人口萬ニ付加入者 一〇、一〇一	小 包 郵 便 物 二、三三八	貨 物 九〇七、四五四	貨 物 二、四〇三、六二四	計	計

通 交

瓦斯事業 (八年)	電氣事業 (八年)	諸車小船 (九年)	ラヂオ聴取者 (十年三月)		世帯千ニ對スル施設割合
			郡上松長 田本野	部市市市	
事業業者數 三三〇、〇九八	事業業者數 四三	自動車及 自動自転車 二、一九三	計	計	計
管 延 長 二九三、六三三	市町村數 四〇八	荷 車 六七、七二八	計	計	計
需 要 家 數 六、三八〇	戶 電 燈 供 給 數 三三三、八一〇	荷 積 牛 馬 車 七、三九九	計	計	計
需 要 孔 口 數 一四、三〇〇	電 燈 筒 數 (十燭換算) 一、九三四、〇七三	自 轉 車 一〇、一七〇	計	計	計
產 出 瓦 斯 一、三三九、七五二	同 換 算 電 力 三三、一六三、六kw	小 船 七三九	計	計	計
石 炭 消 費 量 二、三三九、七五二	取 動 機 數 八、三〇五	計	計	計	計
	同 馬 力 數 三三、一三六、四馬力	計	計	計	計















工				(年八) 業	
(年八) 場 工				非金屬	金屬
從業者	職別	場數	其他	價產	價產
				額額	額額
一、四五九	事務員	七六〇	生絲	石	金、銀、銅、鐵
九五一	技術員	三三	織物		
六、三六一	男職	二二	真綿	炭	金
六八、五〇二	女職	一三	製綿		
七四、七六三	計	一六	其他	亞炭	黑鉛
一、六九八	其他	三〇	工業	石	硫化鐵
六五六	事務員	三七	製材	油	滿
四四三	技術員	二四	其他	硫	僱
七、五〇〇	男職	四二	印刷及	黃	計
一、二五六	女職	一七	食料品	計	計
八、七五六	計	三三	瓦斯及		
四六六	其他	四七	其他		
	其他	三七	計		
	其他	一、〇一一	計		

鑛		(年八) 林			
砂鑛區	坪探掘數	野林		保安林	
		合	國	保	積
砂	鐵	合	國	保	積
鐵	南	公	有	安	面
金	佐	私	料	林	無
	延	計	林	(九	立
	久	林	林	年	木
	長	林	林	末	地
	一	林	林		
	里	林	林		
	砂	林	林		
	鑛	林	林		
	種	林	林		
	延	林	林		
	訪	林	林		
	長	林	林		
	二	林	林		
	月	林	林		
	砂	林	林		
	鑛	林	林		
	種	林	林		
	下	林	林		
	水	林	林		
	延	林	林		
	內	林	林		
	長	林	林		
	二	林	林		
	里	林	林		



		(年八) 產 水			
會社種類別 (八年末)	公	物 獲 漁		殖 養 產 水	
		鯉 鱒 鮭	魚	合 其	鯉 鱒 鮭
商業	一、九〇五			計 他	養殖場數
工業	六二二	三三、一七八	二七、三三八	二二	三六、一〇三
農業	一八八	七、六九三	一六、九六八	九三	二二
運輸業	一五二	三〇、〇〇〇	四三、九四〇	八、一六六	九、九七五、七四七
鐵業	一		其 他		
其他	六		一七、七二六	六〇	五三九、七九二
計	二、三六三		七三、九六八		五八、一〇四

		業			
製 (九年) 絲	玉座器 織械 絲絲絲	(年八) 物 產 工 要 主 (上以圓萬拾貳)			單位
		染漆凍肥味織指替寒生菓酒生	豆	皮	
場數	二、九三七 一八八	一、八四九、九四三	二、三三、三三四	二、一五九、九二六	數量
使用釜數	五八、一五九 三、七二二 四四五	九六八、五二五	八五四、四九一	九八、三六八、九三九	價額
工男	六、六二四 二三五	六、一六三〇	七〇三、八八三	四、三三三、〇五九	單位
工女	六〇、五二四 三、七一〇 四三八	一、六四三、三二〇	二七五、一三三	六四九、五三〇	數量
生絲生產高	二、三五四、五八二 二七、四六八 一、五、四八〇	二、三六、〇二九	二二八、三九二	四三、三三〇	價額











附

錄





1. 歷代知事

在職年	官名	氏名
自明治四年十一月 至明治八年十一月 (明治六年三月權令となる)	筑摩縣參事	永山盛輝
自明治八年十一月 至明治九年八月	筑摩縣參事	高井惟一
自明治四年十一月 至明治六年六月	長野縣參事	立木兼善
自明治六年六月 至明治十四年七月 (明治八年七月權令となる)	參事	楡崎寬直
自明治十四年七月 至明治十七年十月	令	大野精一郎
自明治十七年十月 至明治廿二年十二月 (明治十九年七月知事と改む)	令	木梨
自明治廿二年十二月 至明治廿四年四月	知事	内野忠勝
自明治廿四年四月 至明治廿九年二月	同	淺田德親
自明治廿九年二月 至明治三十年四月	同	高崎親貫
自明治三十年四月 至明治三十一年七月	同	權藤
自明治三十一年七月 至明治三十二年八月	同	國山
自明治三十二年八月 至明治三十五年二月	同	押川則吉



明明明明明明明明明明明明明明明明明明	當 選 年 月
治治治治治治治治治治治治治治治治治治	
三三二二二二二二二二二二二十十十十十十	
二一八七六五四三三一十九九九八五四二	
年年年年年年年年年年年年年年年年年年	氏
十四九九八七八十三三十三三三三三三三	
月月月月月月月月月月月月月月月月月	
月月月月月月月月月月月月月月月月月	
同官同龍島鎌佐松同島佐小同同同同森坂	名
下野津原尾津林田本	
周仲郎郎	
一忠右千忠右元斐則	
人清人郎貞郎門振人貞門辰人人人雄敏	

2. 歷代縣會議長

自昭和十年一月	自昭和八年八月	自昭和六年七月	自昭和四年四月	自昭和二年四月	自大正十四年七月	自大正十二年七月	自大正十年五月	自大正八年八月	自大正六年四月	自大正四年三月	自大正二年四月	自明治三十八年九月	自明治三十五年二月
現至昭和十年一月	至昭和八年八月	至昭和六年七月	至昭和四年四月	至昭和二年四月	至大正十四年七月	至大正十二年七月	至大正十年五月	至大正八年八月	至大正六年四月	至大正四年三月	至大正二年四月	至明治三十八年九月	至明治三十五年二月
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
大岡	石	鈴	千	高	梅	本	岡	赤	力	依	千	大	關
村田	垣	木	橋	谷	間	田	星	石	田	葉	山	清	貞
清	周	倉	太	守	光	利	忠	典	雄	銜	貞	綱	一
一	造	治	郎	了	雄	貞	雄	彦	太	郎	郎	幹	昌



































上田土木出張所	長野縣物産検査所	上田市役所	上田市立病院	上田市立診療所	上田市立専門學校
下田	同	同	同	同	同
長野縣上田中學校	長野縣上田高等女學校	長野縣上田實科高等女學校	長野縣上田實業學校	長野縣上田實業學校	長野縣上田實業學校
三	五	六	五	五	五
新出町	新出町	新出町	新出町	新出町	新出町

7. 名所舊蹟遊覽地

名所	摘要	所在地
善光寺	皇極天皇御宇の草創にして白雉五年勅額を賜り善光寺と稱す。本尊は欽明天皇の御百濟王より本朝に進献せるものなり。海内古名刹の最たるものにして金堂の雄大なること天下第一と唱ふ。山内に大勸進大本願の兩寺及其他三十九の寺院ありて之に奉仕す。壯麗思ふへし。近年参詣者頗る多きを加へ賽者の集團堂内に充つ。	元善町
城山公園	別名峯ヶ丘と稱し長野公園及記念公園よりなる園内物産陳列館あり城山館あり眺望頗る佳。川中島古戰場を一眸に窺む。	城山
長野市球場	長野市城山公園北側に隣接する眺望絶佳の地にあり、球場面積六千坪の大グラウンドなり。	同
長野市花川畔山王小學校南側にあり、五十米コース、ハイダイビン、児童遊泳場を有する理想的水泳プールなり。		同

松本市	上田市	南佐久郡
天主閣	上田城址	松原湖
縣管運動場	上田市場	
縣内諸大名小名の城廓多かりしも稍完全に残存せるは松本城とす。五層の樓閣巍然として聳へ高さ二十五間松本平に於ける唯一の壯觀なり。城は天正十八年石川出雲守の居りし所現在松本中學の敷地たり。	天正十一年眞田昌幸新に築城し之に據り二度徳川の軍を破りて世に著はる。今は四季の花木を植へて遊園地に變りたれど残存せる石壁と城樓は城脚を走る千曲川の流と共に當時を偲ばしむるに足る。	湖形彎曲して大湖、尾長の兩湖に分る。湖岸に野邊山ヶ原の高原廣くハケ岳の奇峯聳え湖邊の風光明媚なり。湖畔に野邊山ヶ原の高原廣く展げ近年遊藝地キャンピング適地として天下に稱せらる。夏季は舟遊快遊遊覧船等の設けあり。又冬季は全面結氷し尺餘に及びスケートの技盛にして内外人の來遊頗る多くスケート競技場として全國屈指の場所なり。(周圍三十丁海拔四、三〇三尺松原湖驛より四丁)
松本驛より電車及自動車を駛せて十五分間淺間温泉に隣接する敷地約六坪の神宮競技場と同じ設備を有する四百米のトラックフィールド七千坪のフィールドを有する野球場、蹴球場、角力場、庭球コート、籠球、スケーティング場、児童遊園地を有する綜合運動場なり。日本アルプスは四圍に聳へ眺望絶佳夏期清涼、東西大都市より夏期合宿に來るもの年々増加す。	上田城跡に建設せられたる運動場に於て三百米のトラック及フィールド、野球場、庭球場、角力場を併設したる綜合運動場なり。	
北深志町	上田市	北牧村



北佐久郡

懐古園	布引観音	浅間山	軽井澤	関御流山
小諸城趾にして、東北に浅間の噴煙を仰ぎ、西南に千曲の清流を望む小諸町唯一の遊園地なり。武田晴信の築きし所にして一名乙女ヶ城と稱す。	布引山釋尊寺境内に在り、岡山悉く波紋状の奇巖を以て成り嵯峨として千曲河岸に峙つ仙境なり。神龜元年僧行基開創（小諸驛より一里餘電車の便あり）	信濃、上野の境に跨る活火山なり。海拔八、二三〇尺頂上の噴火口は周圍二十餘丁今尙常に流煙を噴出す。攀路二あり一は沓掛驛より一は小諸町より何れも絶頂まで三里餘頂上に旅館の設備あり、夏時登山者頗る多し。	碓井峠の西麓に位し海拔三千八百尺、土地高燥にして空氣清爽なるのみならず四顧の景象曠豁雄大にして野趣縱横避暑地として海内無雙と稱せらる。別荘の設くる者愈多く内外人の夏季避暑する者比年其の數を増しつゝあり。（町内輕井澤沓掛の兩停車場あり）	山高からずと雖も翠壁丹崖峯立して花樹茂る山腹に松間一徑を通して觀音堂あり、天正三年慈覺大師の開基と云ひ傳ふ、寺域奇岩多く春花秋風遊覽に適す。（岩村田町の東方一里半）
小諸町	川邊村	輕井澤町	輕井澤町	三井村

小縣郡

國分寺 (八日堂)	生島足島神社	北向堂	温泉
天平九年建武天皇建立の舊蹟にして境内に三間三重銅版葺の古塔婆あり、明治九年保存資金を附せられ同四十年特別保護建造物に編入せらる。境内の藥師を八日堂と稱し、年々一月八日を大鎌日となし上田市と共に八日堂市又は給市と稱し雜開す。（上田の東方二十丁）	上田市の西南二里弱にあり國幣中社にして祭神は毛國魂神皇國魂神の二柱なり、寶車に天平年中の祭器其他武將等の古文書多數を藏せり。社殿壯麗境内幽靜なり例祭九月十九日。（電車下之郷驛下車一丁）	別所觀音と稱す。堂は愛宕山を負つて北に向ひ間口五間奥行七間二重の柿葺にして千手千眼觀世音を安置す。明治二十一年保存金百圓を下附せられ境内の藥師堂護摩堂杉の老樹、女太杉等名あり。	別所温泉 硫黄泉にして旅舍數多し、冬季浴客雜開す。（上田驛より三里電車の便あり） 田澤温泉（上田驛より西南三里半電車自動車の便あり）松本に通ずる縣道に沿ふ。 沓掛温泉（上田驛より四里弱電車自動車の便あり）田澤温泉より半里土地高燥閑靜なり。 雲泉寺温泉（丸子驛より二里）連類泉、三方山を繞らし東北の一方を開いて眺望佳なり。 鹿教湯温泉（丸子驛より二里三十丁）上田松本より各約五里雲泉寺温泉を去る一里連類泉にして三方山を繞らし鹿教湯川北流せる幽邃の地なり。（丸子より自動車の便あり）
神川村	東連田村	別所村	別所村 青木村 西内村



諏訪郡

スギケ スキー 場	温 泉	富士見 高原	岡谷 球場	
上諏訪町の東北約二里半自動車の便あり。カホツテヨ、東山、八子等二十五平方里に亘る廣漠たるスキー場を有す。遠く富士、アルプス、浅間の連峰を一望におさめ眺望雄大、十二月より四月上旬迄粉雪五尺以上に達しスキーの好適地として全国に其名を走せ、來場するもの年と共に増加す、町營小屋、山小屋賣店等あり、霧ヶ峯ヒュッテは百人を收容し得。南西三軒の地点に蓼の海スキー場あり。	下諏訪町の温泉 泉質單純泉なるも到る處湧出し浴客常に雑踏せり。上諏訪町の温泉 單純泉なるも到る處湧出し、其の量の豊富なる旅舎料理店に内湯の無きものなく、町の北部に到るときは毎戸殆ど此の設備あり。	海拔三千百三十五尺、富士天龍二川の分水嶺にして山梨縣界に接す曠漠たる八ヶ岳の裾野の景趣輕井澤に酷似し避暑地として漸く別荘を構ふる者多きを加へつゝあり、原頭松林を隔て富士山の眺望あり。	岡谷驛より約十丁、五千坪を有する大野球場なり。夏季清涼、合宿練習の好適地なり。	を止めずと雖も左崖天龍の清流を望み東湖を隔て八ヶ岳連峯と對し望湖の勝湖第一の稱あり。(岡谷驛より五丁) ●小坂觀音 湖の西南岸に在り老樹鬱々として小岳湖に望み欄間より朝曇夕靄の湖色を展望する景極言ふべからず山腹に觀音堂あり。
上諏訪町	下諏訪町	富士見村	平野村	湊村

諏訪 湖	諏訪 神社	菅平 スキー 場
●雅名を覽湖と稱す。周圍四里二十二丁本縣に有する第一の湖とす。山容湖光四時佳ならずと雖も就中夏季の舟遊最も快適にして遊覽船短艇の設けあり、又嚴冬湖の全面結氷し其の厚さ尺餘に及び人車馬其上を往來するを得。 ●スケート 近年スケートの技藝にして一月より二月の頃に涉り良く結氷し水質良好なると近く温泉を控ゆるとにより内外人の來遊する者頗る多くスケートファンの樂天地として天下一の稱あり。 ●高島公園 高島城跡にして涅槃共に存す園内花木多く四時風光を稱すへし。西に諏訪湖を瞰下し東遙に富士を瞻望し上諏訪町唯一の遊園地とす。 ●花岡城趾 湖の西岸に兀然と立つ小邱にして、花岡氏の屏城今痕趾	官幣大社にして信州一の宮と稱へ上下中社に分れ上社は中洲村神宮寺に鎮座建御名方宮命を祀り、下社は下諏訪町に鎮座建御名方宮命並八坂刀賣命を祀り社殿宏壯森嚴を極む。七年一回の御柱祭及下社御舟祭は全國稀有の特種祭典にして盛名遠く聞ゆ。	上田市より二時間(電車自動車馬機使用)にて達す、雪の超人ハンネスシュナイダー氏の命名せる日本シュワルツワルドとまで稱讚したる五千尺高原の大スキー場なり。十二月末より四月始めに至るスキー練習地として亦競技場として全國一の稱あり。之に加ふるに夏季のスキーキャンプ、キャンプ生活の好適地日本アルプスを一望におさむる眺望雄大、菅平ホテル、縣立青年講習所あり。
上諏訪町 外沿岸四ヶ 村	上社 中洲村 下社 下諏訪町	長村



下伊那郡				上伊那郡
尹良親王御墓	宗良親王の遺址	座光寺 (本善光寺)	天龍峽	高遠公園
飯田町の東南十一甲道に深き赤石岳の麓大鹿村大河原字上蔵にあり、親王は御醍醐天皇三皇子にして征東將軍に補せられ興國中信濃具さに此地に駐まり給ふ事前後廿五年、其間關東北陸の賊と戦ひ難を宮の原と稱し、親王の遺骸は其の原を距る四丁の小丘丸山に欽め御雲を記る。明治十七年宮内省の直轄となれり。	飯田町より距ること八里二十餘丁、三州街道なる浪合村字丸山と稱する山麓の間にあり、親王は宗良親王の第二皇子にして正平九年大鹿村の假御館に生れ幼少より具に艱難を嘗め給ひ、天授年間七野に置々軍と戦ひ利あらずして三河國に赴かれんと此地を過ぎ給ひし時駒場伊那飯田土冠四方に起り波合川邊りて自盡し給ふ事廿三、戦死の地を宮の原と稱し、親王の遺骸は其の原を距る四丁の小丘丸山に欽め御雲を記る。明治十七年宮内省の直轄となれり。	推古帝の御宇此地の住人若麻績東人なる者難波の堀江より迎へ來りし里人本善光寺と稱し賽者頗る多し。阿彌陀佛を今の善光寺(長野市)に遷座する前此地に安置せし舊趾なり。	川路村邊より天龍川の兩岸相通りて花崗岩の懸崖峭壁左右に隆起突出し、時に翠松鬱々其の間に點綴し迂餘曲折舟行三十甲遠州に至る間景趣悉く拘すべし、殊に姑射橋附近十餘丁の間風景最も奇にして耶馬溪の上にありと稱せらる。(天龍峽下車)	高遠公園は高遠城址なり、天正十年仁科五郎信盛の據みし所にして織田信忠の六万の大軍と藤兵血戦遂に陥落せりと雖も號名を殘せり足下に三峯川の急流を隔て五郎山に對し園内樓閣多く郡内第一の公園なり。
浪合村	大鹿村	座光寺村	川江路村	高遠町

西筑摩郡				
中央アルプス	南アルプス	木曾福鳥スキ場	田立ノ瀧	御嶽山
中央アルプス(木曾山脈) 上、下伊那と西筑摩との郡界を劃して延焼南北に亘れる山勢頗る雄大、高山性に富む山脈を云ひ、駒ヶ岳(二、九五六米)、空木岳(二、八六四米)、南駒ヶ岳(二、八四二米)等著名なり。	南アルプス(赤石山脈) 上、下伊那に東を限り、駿甲二州の西境に連りて、南北に亘れるものにして、山麓の複雑なる、其の高度とは遙に爾餘を凌駕し、三千米を超ゆるもの赤石岳(三、一〇〇米)仙丈ヶ岳(三、〇三二米)を初め、八座二千五百米を超ゆるもの二十座に達す。	木曾福鳥驛より一里黍尾が原一帯にして、雪質良好、山岳スキ一の練習地、木曾福鳥驛より自動車及馬の便あり。	木曾川の兩岸相通りて千歳万狀を極め山水奇岩を以て古來より木曾路第一の勝と呼べる、東岸に臨川寺(禪宗)あり眺望頗る佳。(福鳥町より二里半上松より十數町)	海拔一〇、二一八尺、全山輝石安山岩より成り頂上劍ヶ峯に御嶽神社ありて大己貴命少彦名命を祀る、毎歲夏季登山者多く六、七萬人に及び、六根清淨の聲山を賑ふ、攀路二あり三所村黒澤口(頂上迄八里)と王瀧村王瀧口(頂上迄十一里なり、福鳥町よりの甲種とす)
			田立村	上松町
				開三王 田岳瀧 村村村



北安曇郡	南安曇郡
中部山岳國立公園	
<p>二軒に及ぶ大雪溪を包蔵し、夏尙寒き高山峻嶺は百座に及ぶ巍然たる大連嶺を形成し雪溪美豊なる高山植物、隨所に湧出する温泉、上高地、峡谷美を有し峻烈豪壯神秘なる我國山岳美の極致を此處に集中せるものなり。</p> <p>● 槍ヶ岳 嶄然として聳え標高三、一八〇米、直立天空を衝き、槍の穂の如き峻山である。文政九年八月播磨上人によりて開山せられたり、と傳へらる。その肩三方に引き、北西に走るものを西鎌尾根と云ひ、三俣岳より分れて一は薬師、鷲岳より立山に連り、他は鷲羽、針ノ木岳より遙かに白馬に亘る、北東に走るは東鎌尾根と云ひ、大天井、燕岳を起し南は直ちに徳高連峯と肩を接す、雲の去來に心氣を鼓舞しつ、山頂に達すれば廣き嶺かに二坪半、凡ての高さを超越して塵勞を洗ふ時、人始めて自然兒に還るの感あり。</p> <p>● 燕岳 高さ二、七六三米、山頂花崗岩の風化によりて成れる奇岩の間を點綴する低松帯から連山望むは、眺望絶佳にして、大天井岳を経て槍ヶ岳への縦走は「山の銀座」とも道路設備もよく其の名知る。</p> <p>● 乗越岳 山頂は舊火山壁及火口丘等群積起伏し其の間に數箇の小火山湖あり、山深く積雪多く、四時残雪をとむ、上高地と共に近時は唯一のスキ場なり。</p>	
本縣區域 南安曇郡 安曇村、烏川村、西穂高村、有明村	北安曇郡 常盤村、平村、神城村、北城村、南小谷村、北小谷村

東筑摩郡		
山清路	筑摩アルプス	温泉
<p>麻績驛より麻績生坂の兩川迫りて斷崖絶壁を爲し麻績川に臨める嗟沓切新道の奇勝を探り其の盡くる所轉然として犀川に臨む。之より沓沓ること僅にして山清路の勝地あり、南岸は生坂村に屬し北岸は北安曇郡廣津村地籍にして怪石奇岩犀川に迫り山委水容其の景を恣にする處長橋を架せり。ツ、チの咲く頃最佳なり。</p>	<p>松本より三里乃至五里の地點に袴腰、針伏、美ヶ原の連峯を總稱す。一日行程の旅客キャンアに過ぎず、北アルプス連峯、中央アルプス、南アルプス、富士連峯、頭をめぐらせば信越に蜿蜒する妙高連峯一望の中に於きまると眺望を有す。登山路頗る緩、婦女子の登山、冬期のスキ登山の好適地なり。</p>	<p>浅間温泉 松本市の東北二十丁東に本郷山麓へ南西は遠く廣野開け遙かに日本アルプス連峯を望むを得、且つ縣營運動場を控え四季の保養に好適なり、浴場百に垂んとし浴客夥し、泉質何れも單純泉なり（松本驛より電車自動車の便あり）</p> <p>山邊温泉 東北に御殿山を負ひ南西は遠く展開し眺望に富み附近千鹿頭山、廣澤寺鬼川寺の巨刹及徳川家康の御有親父子の舊蹟鬼田等あり。（松本市の東北一里餘、自動車の便あり）</p>
東筑摩郡生坂村、北安曇郡廣津村	本郷村	里山邊村



北安曇郡

川中島古戰場	登波離橋	温泉	アルプスキ	木崎湖中湖青木湖
長野市の南方(二里)厚、千曲二流の合する一帯の地是なり、天文二十二年より永徳四年迄上杉武田二氏の十八年間龍虎撃の激戦ありし有名な古戰場なり、附近八幡原を初め戦蹟頗る多く、尙附近なる奥蔵寺には遺物多くありて昔を偲ぶものあり。(長野市及川中島驛より自動車の便あり)	白駒山の山頂斷崖より斷崖に架したる橋にして、其の周圍には老樹奇木鬱蒼とし春は櫻、藤、藤桐等咲き亂れ、秋は満目紅に染まりて其壯麗絶佳なり、附近に白駒城址、樹玉社、二本松の名勝あり、詩人、學徒、墨客の來訪絶へず。(池田町より東一里)	小谷温泉(大糸南線信濃森上驛より自動車の便あり)越後の國境に在り泉質炭酸泉なり、山間に於て夏季浴客多し。	大糸南線信濃森上驛下車、白馬山麓、白馬大池、落倉、親ノ原、千國に亘る大高原スキ場なり、最近開發されたるものにして、冬期スキナ登山、練習地として亦競技合宿練習地として來場するもの年々増加す。	青木湖は三湖中の大なるもの、木崎湖は大町に近く(一里餘)、中湖湖は兩湖の中間に在り、共に屬して安曇三湖と云ふ、木崎湖畔には仁科氏の城址あり、之と相對せる湖岸日本アルプス連峯を眺望する所に夏季大學、學者村の建設、農林省水産試験場木崎分場あり、又冬季結氷してスケート場として有名なり。
小島田村	陸郷村	中土村		平村

上高地	穂高岳	燒岳	霞澤岳	六百山	等	の	群	峯	に	圍	ま	れ	東	西	四	里	南
北半里に至る海拔五千尺の溪谷にして、アルプスの峰を集めたる處、林相を呈し、又明神池、大正池等を始め所々に池沼あり、玲瓏透徹の中に岩魚の遊ぶを見る、眞に豪宕にして、瀧谷の首位として日本八景の一に推され、縣營上高地ホテル在り、近時此地にキャンプ生活をするもの年々増加し、緑樹の中溪流の畔テントの點々たるを見る、將來避暑地として又遊園地として天下に冠絶するに至るべし。	白馬岳 信濃越中越後の國境に跨る海拔一〇三〇〇尺、山麓北城村より頂上迄五里登攀容易ならずと雖も日本アルプス山系中最も奇勝多く、即ち山腹急平より溪間約二里に亘り悉く四時水雪を以て覆はれ水河の痕跡ありと稱せられ、高山植物密生して盛夏の候恰も一大花園を見るが如し。而して夏季登山者此處に最も多し。	中房温泉 有明村字宮城より中房川を渡りて有明山の西麓にあり泉質硫酸泉にして夏秋の候浴客群集す、附近勝地少なからず、有明山頂へ一里半。	白骨温泉 安曇村大野川字白骨にあり海拔三、一七七尺、飛彈信濃の國境にありて北に燒岳を負ひ南は乗鞍岳に接し西は絶壁の溪流に臨む、泉質硫酸泉にして夏季浴客頗る多し。(豊科町松本市より各十二里餘島々迄電車の便あり)	葛温泉(大町を距三里)平村の川中高瀬川の邊に湧出す、海拔二、八四七尺、夏季浴客少からず。(泉質硫酸類なり)													



更級郡

換拾山

中央線換拾驛を距る僅に三丁、古來觀月の勝地として所謂「田毎の月」の名海内に著はる、長樂寺境内に高五丈横十間餘の巨石あり換石と謂ふ、右に當りて満月殿あり、觀月堂は本堂に接す。

八幡村

埴科郡

温泉

上山田温泉、(戸倉驛より二十丁)、泉質硫酸泉なり、北隅に八王子山を負ひ、前は千曲川に臨み附近城山の古跡佐良志奈神社等あり、戸倉温泉と軒を列べて旅舎あり、浴客頗る多し。

上山田村

温泉

戸倉温泉 (戸倉驛より二十丁)、千曲川畔にあり、泉質硫酸泉にして上山田温泉と隣接し浴客又頗る多し。

戸倉村

臥龍山

須坂驛より十町東南須田に在る丘陵なり、全山赤土にして奇松、枝を交へ間々ツ、チ、櫻樹あり花季の眺最も佳なり、山上に須坂藩主家の廟所、同藩主の招魂社等あり、遠く望めば千曲川を隔て義光寺平を一時に集め山麓に龍池ありて須坂唯一の遊園地とす。

須坂町

米子の瀧

仁禮村大字米子山の中にあり、一名不動瀧と謂ふ、溪谷より徑流きて峻巖通る處不動堂あり、其の後方は断崖絶壁にして二條の瀑布之に懸る、一は高さ九十五丈黒不動瀧と曰ひ、一は高さ八十丈権現瀧と謂ふ夏秋杖を曳く者頗る多し。(須坂町より四里)

仁禮村

温泉

山田温泉 (須坂、小布施、中野各驛より三里自動車の便あり)、山田村大字山田に在る硫酸泉なり、海拔二、五七二尺、夏冬の候浴客頗る多し、附近にスキー場あり。

山田村

下高井郡

畑瀧

湯田中より一里弱、平穩村角間川の上流字坊平にあり、高三百九十尺巾六十二尺、断崖絶壁の間に懸りて頗る壯觀なり、此地一帯秋季紅葉の早きを以て名あり。

平穩村

温泉

湯田中温泉 泉質硫酸と硫酸泉の二種あり、浴場數ヶ所を設け四時浴客多し、附近に湯平公園あり。(電車自動車の便あり)  
安代温泉 (湯田中驛を距八丁)、硫酸泉にして横湯川に臨み風趣に富み浴客頗る多し。  
温泉 安代と接続し泉質亦硫酸泉にして浴場多く浴客賑へり。  
上林温泉 温泉を距る十五丁、同村字香野に在り近年の開場なるも土地乾燥にして眺望快調たるを以て夏季浴客少からず。  
地獄谷 温泉より一里弱字地獄谷横湯川の溪間に在り、熱湯常に岩石の間より噴出し雪々たる音響は山を震盪し煙霧山腹に散し眞に一奇觀なり、沿岸に一亭あり傍に浴室あり延命湯と稱す。  
角間温泉 穂波村大字佐野の東にあり、浴室少からず金創脚氣火傷等に効ありとて遠近より浴客集來す、泉質硫酸泉にして中野町より二里弱とす。

穂波村

野澤温泉 飯山線野澤温泉驛より一里強、河東線木島驛又は飯山町より三里弱自動車の便あり、豊郷村大字野澤に在り、泉質硫酸泉なり浴場數多あり、地勢越後の國境に近く浴客スキー客等來集する者近時著しく増加す。

豊郷村



野澤スキー場	志賀高原	裾花峡	戸隠神社
スキー季節は十一月末より四月上旬に至る、積雪丈餘、雪質良好にして、斜面の變化に富み、年々来るもの數千人、ハンネスニューナイダー氏の美技を十分發揮したる各スロープ、全國第一のジャンプ臺、第二回明治神宮競技會場となりたる以後は特に來場するもの多し。	長野電鐵終點湯田中驛より一里半、スキー期節は十二月より四月に至る積雪數尺、四千尺の高原にして斜面の變化に富み各所にヒユツテの設備、温泉宿ありて山岳スキー家の愛好地なり。	裾花峡は長野市の西北を流る、裾花川上流十三里餘の溪谷の總稱にして、對岸肩を懸し嶮峻立し崖下は蒼潭急流相次ぎて或は瀑となり淵となる。迂餘曲流の間春の藤ツ、ジ夏の深緑冬の雪溪秋の紅葉等四時の風光佳ならざるはなし。(善光寺より十八丁自動車の便あり)	奥社は戸隠前山の山腹に在り、祭神は天手力男命にして、草創は孝元天皇即位五年と云ひ傳ふ、國幣小社たり。地高燥にして空氣清爽、夏季避暑する者漸く多く、殊に秋季紅葉の候雅客杖を曳く者亦少からず、又山中勝跡多く夏季登山者年々其の數を増加しつゝあり。(長野市を距る五里自動車の便あり)
豊郷村	平穩村	芋井村、小田切村、備前村、戸隠村、鬼無里村	戸隠村

野尻湖	安茂里の杏	飯山スキー場	正受庵
一名芙蓉湖と云ふ、周圍三里形彎曲して琵琶に似たり、湖中琵琶島あり市貴姫神を祀る、東に斑尾山時たち湖中に其の影を寫し、山水の美云ふ可からず、夏時水溫高く水泳競技場完備し漁遊に亦可なり、近時別荘増加し内外人の避暑地として又キャンピング適地として賑ひつゝあり。(海抜二、一五八尺柏原驛より三十丁自動車の便あり)	長野市外安茂里村は一村悉く杏花を以て著はる。北に山を嶠ひ南に桑園麥隴を隔て、犀川の清流を繞らし、紅雲一抹茅屋を覆ふの狀一奇觀なり、字久保寺の山腹に觀音堂あり、年々四月十八日を以て縁日となす、恰も花時に當りて士女の遊覽する者多く殊に其の境内より下瞰する眺望益々佳なり。信濃名産杏は此の地の産とす。	信越縣豊野驛より岐る、飯山線の飯山驛下車、又は信越線屋代驛より岐る、河東線の終點木島驛下車(約十丁)にあり。	飯山町、上倉山の麓にあり、庵は白隠禪師の師、惠端禪師の草庵なり地域廣からざるも土地高く展望に富み、亦禪師が自ら作れし庭は幽韻に富む。
信濃尻村 古間村	安茂里村	飯山町	



8. 信濃民謡

信濃よいとこ

- おらが善光寺さんが 常夜燈の灯  
末世衆生の涙をたらす  
一やどまりに後生願こめりや  
鐘があとひく後がみ  
信濃よいとこ 彌陀の國、彌陀の國
- 諏訪のみづらみ 嘘に暮れて  
遠く光るは 兜か 星か  
まよ流れて 天龍峽の  
舟で別れの唄に泣こ  
信濃よいとこ 水の國、水の國
- 信濃乙女は 絲くる乙女  
モダン都は 思はず暮す  
重やすみを ちよいと出て逢ほか  
山の桑畑月ばかり  
信濃よいとこ 生絲の國、生絲の國

信濃ぶし

- 信濃善光寺さんに常夜燈がついて  
いつが日暮れて夜あけやら
- 右に御嶽左に淺間  
ともに善光寺さんの眺めぐさ
- 騒く騒かぬも川中島の  
葦の尾花も 風次第
- 犀や千曲は川ではないか  
長野裾花川ぢやない
- 日本アルプス谷間の雪は  
夏も知らずに冬となる

北信濃音頭

- ひろい信濃も千曲はひとり  
たまにや巻きたい 渦もある
- 碓氷越えれば杵掛御代田  
夢は小諸の懐古園
- なんで上田が素通りなるか  
こゝは眞田のやらず陣
- 山は戸隠紅葉は燃える  
長野おとめの深なさけ
- 平穩八湯は一茶も裸  
けふも夜間瀬の川越えて

松本民謡

- 謡はんせ 謡はんせ  
信州松本入馬千駄  
出馬千駄のこゝろいき
- 櫻花 櫻花  
咲いてゐるのに啼くほととぎす  
雪も消へぬに夏となる
- 街中を まち中を  
練るよお神輿あれよお獅子  
搦ちや／＼もひとさかり
- 奈良井川 奈良井川  
木曾を出て来て松本平  
思ひ増す水さそふ水



上田小唄

○のぼる朝日は 太郎山のほとり

松に色濃い だて姿

○人は變れど 想ひはのこる

華のご城趾 夢の跡

○絲になりたや 雲の絲に

いとしお方の上田 錦

○花の上田の下道 小道

今もあの娘のあて 姿

信濃追分節

○浅間根腰の焼野の中で

あやめさくとはしほらしや

○西は追分 東は關所

關所越えれば旅の空

○碓氷峠の権現様は

主のためには守り神

○浅間山から出て来る水は

雨も降らぬにさゝにこり

○浅間山さんなぜ焼けしやんす

腰に三宿もちながら

望月小唄

○私しや信州望月の生れ

山家育ちでも實がある

○鹿曲峽に咲き出た花は

意氣と情の色もよう

○俺が望月殿居の城の

駒に乗せたい逢はせたい

○御牧野に咲くあの鈴蘭は

過ぎし月毛の語りぐさ

○南蓼科北では浅間

間の望月駒の里

小諸節

○イ、ジャナイカイ 信州小諸

花に城浮く懐古園

○イ、ジャナイカイ 信州小諸

雲の浅間に立つ煙

○イ、ジャナイカイ 信州小諸

月に棹さす千曲川

○イ、ジャナイカイ 朝霧晴れて

裾野三里は萩桔梗

○イ、ジャナイカイ 古城のほとり

眺め不開の酔月峽



別所小唄

- 連れて行かんせ観音さんへ  
今年十九の厄除けに
- 吹く春風別所の戻り  
あたら湯花の香がさめる
- 戀の病に薬の御湯と  
七湯七苦離名を流す
- 青葉若葉の別所の里は  
深山からすを御湯で閉く
- 別所名物かずくあれど  
主へみやげは玉の肌

菅平スキー小唄

- 絆なセーターにスキーをつけて  
行かうよ信濃のシユラルツワルド  
日本ダボスの菅平  
タララツタジクザツクスキーで  
すべろスロープ菅平
- 曉の處女雪銀盤踏んで  
登る猫岳心も躍る  
同じルートを後や先
- 銀のコースは何處までつづく  
雪の白樺乙女の素足  
胸にや吹雪の花が咲く
- 雪の高原吹雪に暮れりや  
月は白銀乙女の心  
遙かホテルの灯が招く

スケート節

- 諏訪のスケート手に手をとりて  
おしのつがいか群れ胡蝶
- 諏訪へくと皆な行きたがる  
諏訪に湖水があればこそ
- 諏訪の湯の花梢は白く  
つもる話は寝てとける
- 諏訪の岡谷でとり出す絲は  
世界の市場を支配する

霧ヶ峰小唄

- 見わたせば  
北にアルプス南にや富士よ  
こゝは天下の霧ヶ峰
- 霧ヶ峰  
霧ちやありやせぬありやスキーヤーの  
意氣で飛ぶ雪けむり
- 五千尺  
銀のスロープ伊達には積みぬ  
可愛いスキーヤーの鹿胸だめし
- ほのくと  
若いスキーヤーの唄から明ける  
諏訪は湯の町雪の町



伊那節

- 木曾へ木曾へとつけ出す米は  
伊那や高遠の餘り米
- 嫁はにこく夕餉の仕度  
かいた靈前に月がさす
- 天龍下ればしぶきに濡れる  
持たせやりたや槍笠
- 遙か向ふの赤石山に  
雪が見えます初雪が
- 桑の中から小唄がもれる  
小唄きゝたや顔見たや

龍峽小唄

- 天龍流れて稻穂は黄金  
満は白金お國自慢の天龍峽よ
- 伊那の黒土ふみくござれ  
河は天龍山は赤石見てござれよ
- 河を距てゝ灯が見へる  
標をひく灯か物を縫ふ灯か戀の灯かよ
- 川路龍江を結ぶの神の  
かけた虹かや姑射の釣橋皆渡ろよ
- 岩を傳ふて舟曳く人の  
唄に合せて可愛目白がちろゝ啼くよ

木曾節

- 木曾の御嶽夏でも寒むい  
拾やりたや足袋よそへて
- 拾ばかりは遣られもすまひ  
褌袴仕立てゝ足袋よそへて
- 心細いよ木曾路の旅は  
川の鳴く瀬と鹿の聲
- 木曾の名所はかけはし寝覺め  
山で高いが御嶽山
- 木曾の名木あすひにひのき  
さわらねずこにこうやまき

壱尻甚句

- 行かうか壱尻歸るか洗馬へ  
ごゝが思案の桔梗ヶ原
- 主は今頃桔梗ヶ原あたり  
薄尾花をつれとして
- 床尾平出大門かけて  
鳥鳴けく栗と鳴け
- 洗馬の射松日出壱の青木  
内裡屏風の畫にござる
- 壱尻峠で牡丹餅投げりや  
金井柿澤一とねばり



淺間小唄

- 淺間湯の街や松本だら  
山や谷間の蔭ぢやない
- 女鳥羽河原にかじかが啼くが  
わたしや別れに湯場で泣く
- 日本アルプス淺間の宿ぢや  
庭の景色でひと眺め
- かけひづたひに湧く湯はながる  
逢ひに行く夜は聞づたい
- 山に木の葉がいろづきそめりや  
日本アルプス雪を待つ

安曇節

- 白馬八月残りの雪を  
割りて咲き出す花のかず
- 何か思案の有明山に  
小首かたげて出たわらび
- 鹿島男は皆山かせぎ  
女借馬通ひ作
- 夏も涼しや木崎湖行けば  
岳の白雲舟で越す
- 小手をかざして上高地を見れば  
槍や穂高は雲の上

大町小唄

- 山にのぼるかヨのぼるか山に  
みそら十里は岳の町
- 山を下ろかヨくだろよ山を  
夜の安曇野光る町
- 北は白馬ヨ南は穂高  
どちら立山思案町
- 蓮華夕映えヨ安曇野日和  
月か日町か星の町
- 小鳥焼こならヨみやまへござれ  
山は鷹狩霧の町

更級ぶし

- 信州信濃の更級蕎麥は  
馬の鼻息ですぐゆだる
- 信州篠の井林檎の名どこ  
山に山つむ紅がのる
- あちら聞いてりやこちらにすまぬ  
犀と千曲の水の音
- 月の鏡捨曇ると照ると  
思ひ捨てずに忘れずに
- 聖山からアルプス見れば  
雪の根雪が空に射す



千曲小唄

○岩間にげ水ひそく小みち

木の根草の根わけて来て

さじめき合へばうわさ末廣千曲川

○千曲河原のすい／＼ほたる

湯の香く／＼つてまた光る

川中島にうわさ末廣越路まで

○千曲河原の夜な／＼懸路

わたしやむだには通やせぬ

更科手古奈うわさ末廣懸は意地

○たぎる湯水はひそく地底

湯みちつくまでわきやせぬが

燃へたつおもひうわさ末廣色に出る

川中島音頭

○信州信濃の川中島は

犀と千曲のあひの島

○妻女ほの／＼越後の勢は

ねむる海津を見て忍ぶ

○川は朝霧一鞭あてりや

なんの八幡武田菱

○一と目夜のあけきらめく三太刀

借しや七太刀ながれ屋

○昔おもへば千曲の水も

車が／＼りの音もする

松代ぶし

○色のよいのは松代染よ

見そめ逢ひそめ思ひそめ

○人は象山音なら火砲

意気は信濃の山ざくら

○眞田六文銭海津の城よ

今は四ツ葉のうまごやし

○昔や火の山今皆神よ

すそにこんこと水がわく

○やうち行きしよか蟲歌山へ

盆の月夜の蟲聞きに

須坂小唄

○山の上からちよいと出たお月

誰を待つのか待たれるか

○誰も待たない待たれもしない

可愛いお前に逢ひたさに

○可愛わたしは須坂の町に

須坂懸しかあのお月

○お月や工場をちよいと来てのぞく

誰におもいをかけたやら

○わずか離れた須坂と小布施

なぜか小布施は栗(九里)もある



中野小唄

- 信州廣くも中野がなけりや  
どこに日の照る町がある
- 信州中野はお置どころ  
中野つむぎの出るところ
- 中野生れは氣だてゝ知れる  
横に車は押しやしない
- 島田結はせて黒姫山に  
婿があるなら嫁にやる
- ゆかしなつかし高梨様の  
松に昔の風が吹く

平穩小唄

- 信州平穩の八つの温泉  
花も霞むよ湯けむりに
- 浮世はなれた屋川べりに  
浴み歸りの夕涼み
- 瀧の白砂紅葉の錦  
かざす湯槽に月も照る
- 萩掃ひたる撥の音冴えて  
里は湯炬燵置炬燵
- 地獄谷から温泉をひいて  
山の極樂上林

野澤温泉小唄

- 千曲わたれば、野澤の出湯  
わたり鳥さへ、しらぬ鳥さへ  
寄るものを
- おなじ咲くなら、野澤のつらぢ  
一目千兩のおもひくの  
みだれ咲き
- みがく男の舞臺はこゝに  
野澤スキーのまたとありやせぬ  
理想郷

飯山小唄

- こゝは飯山スキーの名所  
月や花より雪を待つ
- 行かうよ城山神明ヶ丘へ  
雪がはれたよ陽が出たよ
- 雪の飯山スキーの名所  
雪崩ないので誰も来る
- 冬の三月を神明ヶ丘は  
日毎陽氣な人ばかり
- 五里や七里はスキーで通ふ  
たまに來いと文ほしや





昭和十年四月二十五日印刷  
昭和十年四月三十日發行

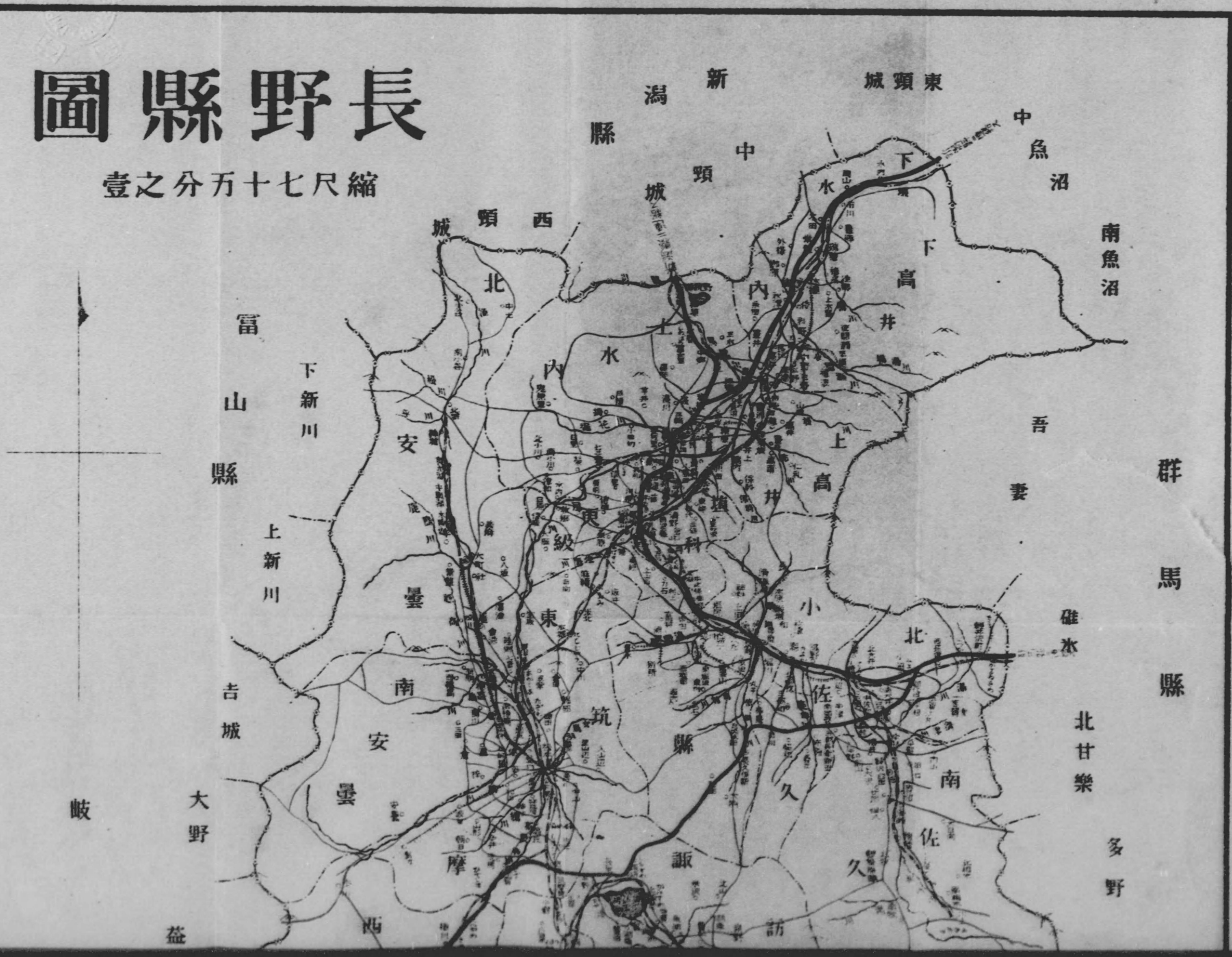
長野縣

印刷人 長野市東之門町三二  
長野市平井佐太郎  
印刷所 長野市旭町乙一  
長野新聞社活版部

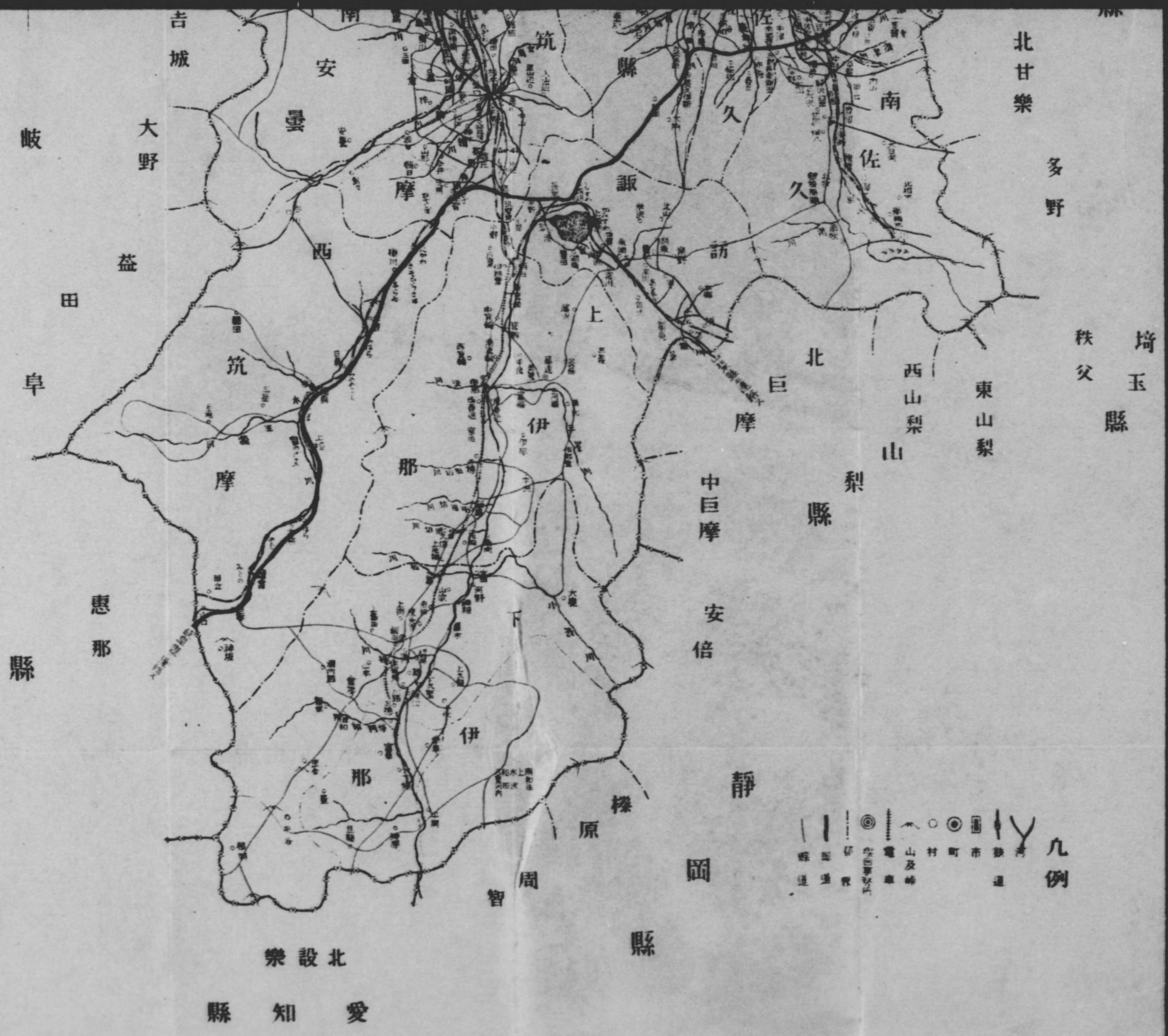


# 長野縣圖

縮尺七十分之一







岐阜縣

大野  
益田

吉城

筑摩

安曇西

伊那

筑前  
上伊那  
下伊那

原

櫛原

中巨摩  
安倍

靜岡

久野  
北巨摩

南佐久  
梨縣

西山梨山

東山梨

北甘樂

多野

秩父

埼玉縣

北設樂

愛知縣







144  
027





